

参考資料

平成25年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
保 健 医 療 部

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総額

### 【一般会計】

区分	平成25年度	平成24年度	伸び率
予算総額	155,498,896千円	152,992,529千円	1.6%
一般会計構成比	9.3%	9.1%	—

## II 主な新規事業および重要施策

(単位 千円)

### 1 周産期・救急医療体制の充実

P 1	新規	周産期医療・救急医療を担う医師の負担軽減【医療整備課】	109,200
P 2	一部新規	周産期医療体制の強化【医療整備課】	741,221
P 3	一部新規	救急医療体制の強化【医療整備課】	757,386

### 2 医師確保対策の推進

P 4	新規	埼玉県総合医局機構の体制整備【医療整備課】	40,192
P 5		医学部の環境整備【保健医療政策課】	21,464
P 6	一部新規	医学生・研修医の誘導・定着の促進【医療整備課】	273,605
P 1	新規	周産期医療・救急医療を担う医師の負担軽減【医療整備課】	109,200 (再掲)

### 3 在宅医療・疾病対策の推進

P 7	新規	在宅医療体制の強化【医療整備課】	31,711
P 8	一部新規	がん対策の推進【疾病対策課】【医療整備課】	130,419

### 4 健康長寿埼玉の推進

P 9	一部新規	健康長寿埼玉プロジェクトの推進【健康長寿課】	89,695
P 10		特定健康診査等実施事業への支援【国保医療課】	1,233,805

### 5 健康危機管理・自殺対策の推進

P 11	一部新規	新型インフルエンザ対策の推進【疾病対策課】	1,284,333
P 12	一部新規	自殺対策の推進【疾病対策課】	135,594

### 6 市町村国民健康保険等への支援

P 13		市町村国民健康保険事業への支援【国保医療課】	50,908,952
P 14		後期高齢者医療制度への支援【国保医療課】	51,522,078
P 10		特定健康診査等実施事業への支援【国保医療課】	1,233,805 (再掲)

### 7 今後の医療提供体制整備の進め方

P 15		今後の医療提供体制整備の進め方【保健医療政策課】	3,428,698 (再掲)
------	--	--------------------------	----------------

## 周産期医療・救急医療を担う医師の負担軽減

担当 医療整備課 地域医療対策担当  
内線 3538

### 1 目的

周産期母子医療センターや救命救急センターの現場は長時間勤務など勤務医の労働環境が大変厳しく、医療従事者の不足により安定的な医療体制の維持が困難になっている。

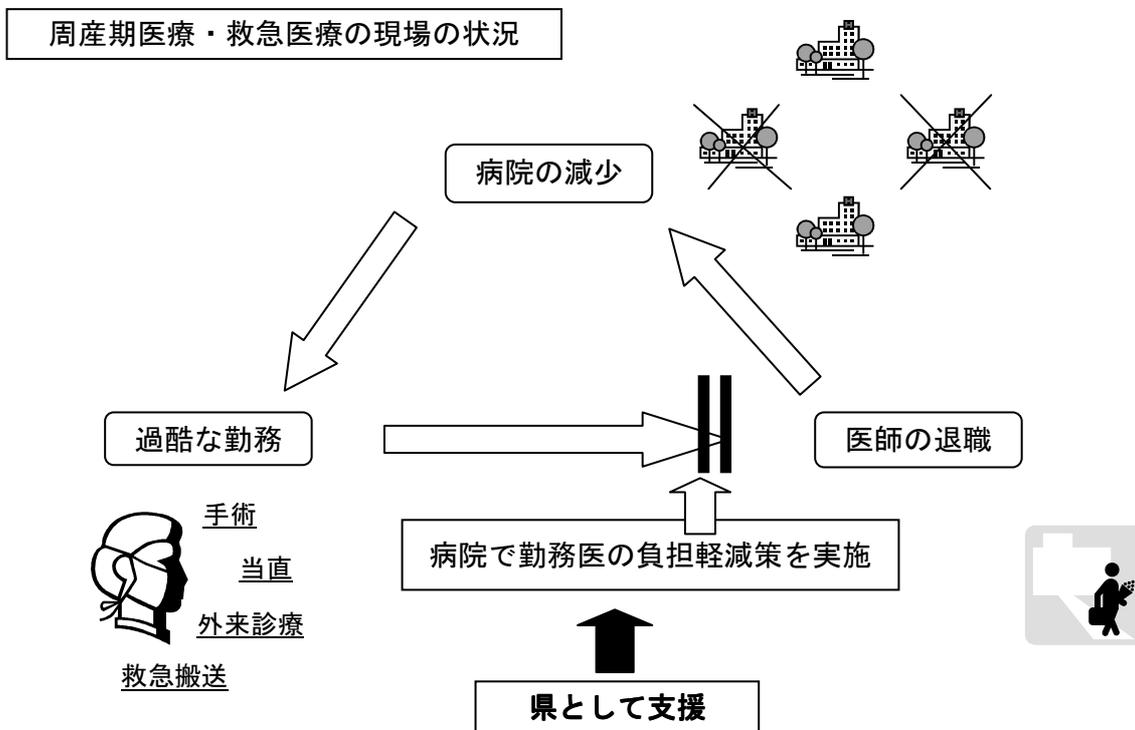
このため、周産期母子医療センターや救命救急センターが行う勤務医の負担軽減に向けた取組を支援し、急性期医療体制の維持を図る。

2 予算総額 109,200千円

### 3 事業概要

過酷な労働環境にある勤務医の負担軽減を図るため、周産期母子医療センターや救命救急センターが現員数に加えて新たに非常勤医師を雇用する場合に助成する。

- (1) 周産期母子医療センター勤務医の負担軽減（新規） 52,000千円
- (2) 救命救急センター勤務医の負担軽減（新規） 57,200千円



病院が行う負担軽減策を支援し、周産期医療・救急医療の体制を維持する

## 周産期医療体制の強化

担当 医療整備課 地域医療対策担当  
内線 3538

### 1 目的

安心してお産ができる環境づくりのため、県内の新生児集中治療室（NICU）150床整備に向けた施設整備や周産期母子医療センターの運営に対して助成を行うほか、リスクの高い母体・新生児に対して高度な医療を提供する病院への搬送体制を強化する。

### 2 予算総額 741,221千円

### 3 事業概要

#### （1）安心できるお産環境の整備（一部新規） 146,382千円

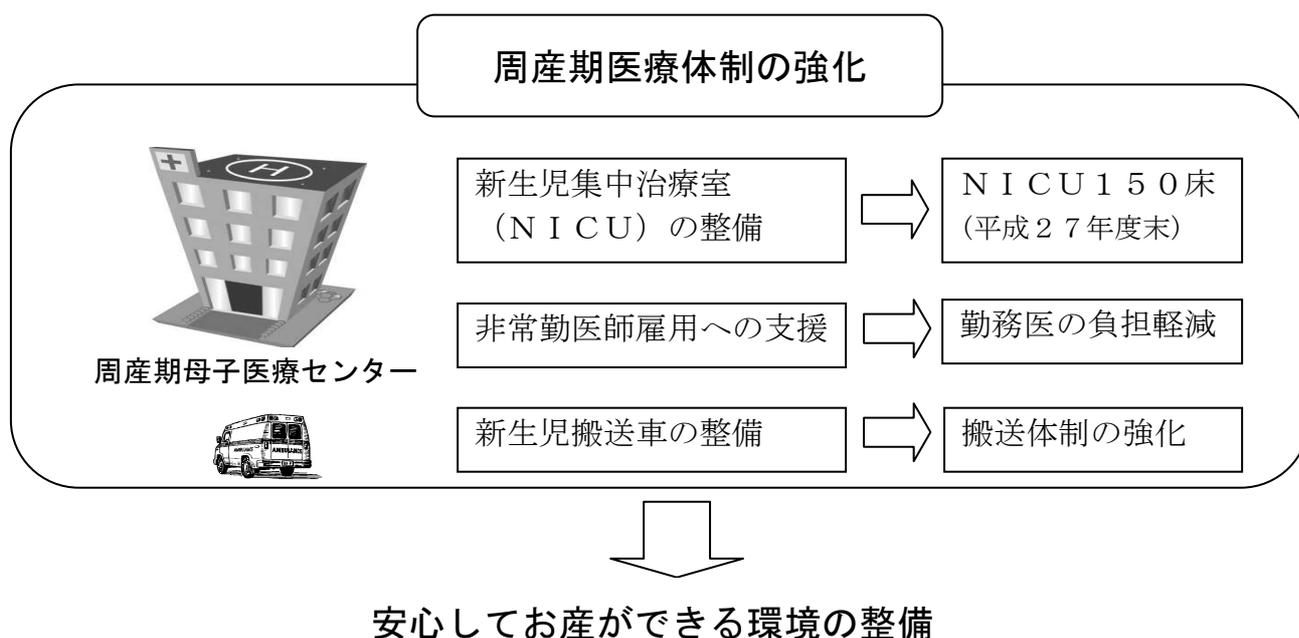
高度な医療を必要とするハイリスク新生児の搬送のため、新生児搬送車を整備するとともに、母体・新生児搬送コーディネーターの増員により、広域的な搬送体制を強化する。

#### （2）周産期母子医療センター勤務医の負担軽減（新規・再掲）52,000千円

過酷な労働環境にある勤務医の負担軽減を図るため、周産期母子医療センターが現員数に加え新たに非常勤医師を雇用する場合に助成する。

#### （3）周産期医療施設の整備と運営への支援（一部新規） 542,839千円

NICUを増床した埼玉医大総合医療センターをはじめとする周産期医療施設の運営への支援を引き続き行うほか、県立小児医療センターとさいたま赤十字病院のさいたま新都心への移転立地による一体的整備に着手することにより周産期医療体制を強化する。



## 救急医療体制の強化

担当 医療整備課 地域医療対策担当  
内線 3538

### 1 目的

小児救急電話相談の拡充や救命救急センターの施設・設備整備に対する助成等により、安心して救急医療を受けられる体制を強化する。

2 予算総額 757,386千円

### 3 事業概要

(1) 小児救急電話相談事業（拡充） 81,725千円

電話相談体制を強化し保護者の不安解消を図るため、夜11時までの電話について現行の2回線から1回線増設し3回線に拡大する。

(2) 救命救急センター勤務医の負担軽減（新規・再掲） 57,200千円

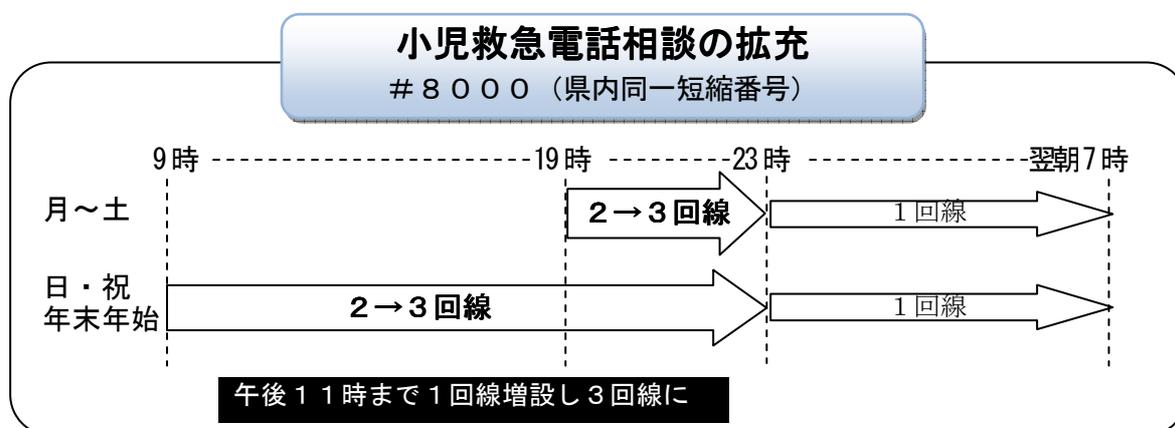
過酷な労働環境にある勤務医の負担軽減を図るため、救命救急センターが現員数に加え新たに非常勤医師を雇用する場合に助成する。

(3) 高度救命救急センター施設・設備整備事業（新規） 610,470千円

埼玉医科大学総合医療センターの高度救命救急センターについて、外傷センターやICUを備えた新棟の整備に着手し、救急患者の受入体制を強化する。

(4) さいたま新都心への医療拠点の整備（新規・再掲） 7,991千円

県立小児医療センターとさいたま赤十字病院のさいたま新都心への移転立地による一体的整備に着手することにより、救急医療体制の強化を推進する。



より多くの相談に対応

## 埼玉県総合医局機構の体制整備

担当 医療整備課 医師確保対策担当  
内線 3546

### 1 目的

これまで県内への勤務医の誘導を図るため、研修医への研修資金の貸与や医学生への奨学金の貸与などを行ってきた。

埼玉県総合医局機構は、医師の診療科偏在や地域偏在の解消に取り組むコントロールタワーとして、従来の取組で確保した医師を医師の不足する病院に派遣することなどにより、医師の確保や県内全域の医療水準の向上を目指す。

2 予算総額 40,192千円

### 3 事業概要

(1) 埼玉県総合医局機構準備・運営 20,310千円

良質な医師バンクやベテラン指導医の派遣などにより、個々の医師の医療機関への誘導や若手医師のキャリアアップ支援を行う。また、平成28年度の地域医療教育センター（仮称）の開設に向けた準備に着手する。

(2) 後期研修医の確保 5,800千円

後期研修医向けの民間主催合同説明会に出展し、後期研修医を確保する。

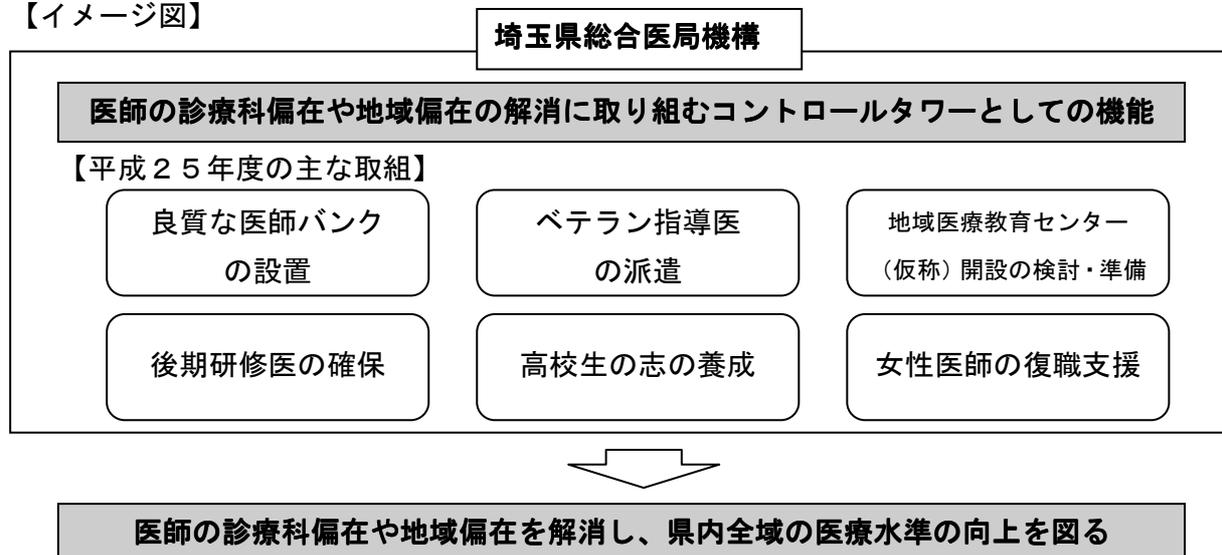
(3) 高校生の志の養成 2,440千円

病院見学や医療体験などを通じた高校生の医師を目指す志の養成や医学生との交流会といった未来への投資を行い、地域医療の担い手を育成する。

(4) 女性医師の復職支援 11,642千円

新たに女性医師の復職研修などを実施し、相談から復職まで一体的な女性医師の支援を行うとともに、女性医師支援センターを運営する。

#### 【イメージ図】



# 医学部の環境整備

担当 保健医療政策課 医学部調査・政策企画担当  
内線 3526

## 1 目的

現在、産科、小児科などの特定診療科や救急医療を担う医師の確保及び体制の立て直しが急務である。

また、超高齢化を見据えた医療提供体制の整備にも取り組む必要がある。

医学部新設認可について国が方針を示さない中、医学部の実習病院化を視野に入れた総合病院の誘致や時代の要請に応え発展性を備えた「医学部」の調査・検討を行う。

## 2 予算総額 21,464千円

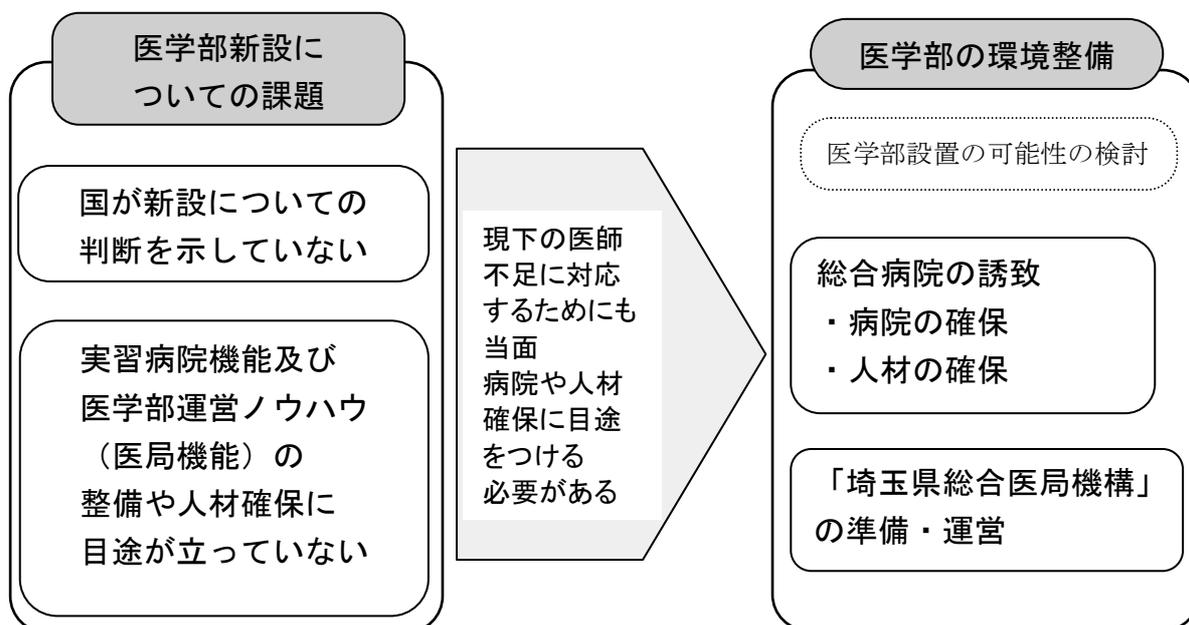
## 3 事業概要

### (1) 総合病院誘致に係る調査・検討

①現下の医療提供体制を充実させるため、また、②実習病院化を視野に入れ、医学部設置を見据えた環境整備を行うため、当面優先的に取り組むべき総合病院誘致に係る調査・検討を行う。

### (2) 医学部設置の可能性の検討

超高齢化を見据えた医療提供体制の在り方を検討する。また、医師養成大学院（メディカルスクール）を含めた幅広い調査・検討を行う。



## 医学生・研修医の誘導・定着の促進

担当 医療整備課 医師確保対策担当  
内線 3546

## 1 目的

医師の診療科偏在や地域偏在を解消するため、医学生や臨床研修医等に対する奨学金や研修資金の貸与を行うとともに研修病院の積極的なPRにより、県内医療機関に研修医等の誘導・定着を図る。

## 2 予算総額 273,605千円

## 3 事業概要

## (1) 県外医学生及び地域枠医学生に対する奨学金の貸与 138,348千円

県内高校の卒業生等で県外大学医学部への進学予定者や県内大学の医学部に設けられた地域枠医学生に奨学金を貸与し、県内の医師確保が必要な地域の公的医療機関等への誘導・定着を促進する。

貸与人数：（県外医学生）新規15人、（地域枠医学生）新規10人

## (2) 臨床研修医及び後期研修医に対する研修資金の貸与 116,200千円

県内病院で臨床研修や後期研修を受講する医師に研修資金を貸与することにより、県内の産科、小児科又は救命救急センターへの誘導・定着を促進する。

貸与人数：（臨床研修医）新規20人、（後期研修医）新規20人

## (3) 研修病院の魅力発信（一部新規・一部再掲） 16,617千円

後期研修医を確保するため、新たに後期研修医向けの民間主催の病院合同説明会に出展し、魅力発信を行う。

また、県内臨床研修病院の合同説明会の開催や臨床研修医向けの民間主催の病院合同説明会への出展により、引き続き県内臨床研修病院のPRを行う。

## (4) 高校生の志の養成（新規・再掲） 2,440千円

病院見学や医療体験などを通じて、医師を志す高校生の養成に取り組む。また、奨学金や研修資金貸与者等のネットワークの形成を図るため、交流会を開催する。

## 【段階ごとの医師の誘導・定着に向けた取組】

高校生	医学生	研修医	
		臨床研修	後期研修
・ 高校生の志の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県外医学生奨学金</li> <li>・ 地域枠医学生奨学金</li> <li>・ 交流会</li> <li>・ 臨床研修病院合同説明会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床研修資金</li> <li>・ 後期研修病院合同説明会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期研修資金</li> </ul>

## 在宅医療体制の強化

担当 医療整備課 総務・医療企画担当  
内線 3545

### 1 目 的

在宅で療養する患者ができる限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう、在宅医療を担う医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、介護支援専門員など多職種の連携強化を図る。

2 予算総額 31,711千円

### 3 事業概要

(1) 在宅医療・介護連携実態調査 24,520千円

#### ア 在宅医療・介護連携実態調査

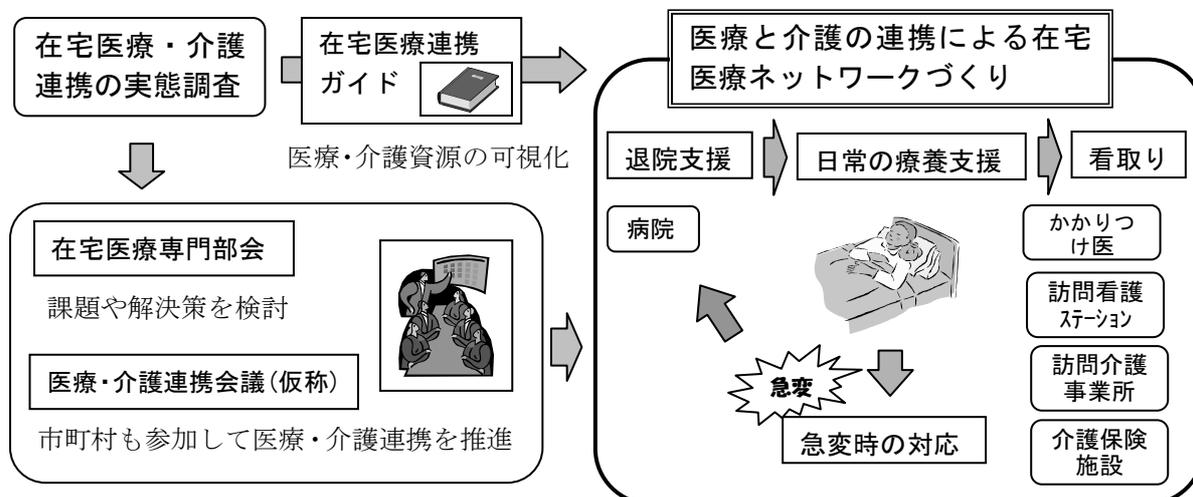
- ①在宅医療を担う医療機関同士、又は介護との連携状況
  - ②在宅医療・訪問看護を担う機関が対応できる疾患などの状況
  - ③在宅医療に対する患者の満足度
- など、今後の在宅医療の事業展開を図る上で基礎となるデータを収集する。

#### イ 在宅医療連携ガイド（仮称）の作成

実態調査のデータを活用して、「在宅医療連携ガイド」を作成し、在宅医療・介護の現場で活用する。

(2) 在宅医療推進のための体制整備 7,191千円

在宅医療を推進するため、課題や解決策を検討する専門部会の設置や行政・医療機関・介護施設等で構成する連携会議を設けて医療・介護のネットワークを構築する。



## がん対策の推進

担当 疾病対策課 疾病対策担当 内線 3593  
医療整備課 企画・総務担当 内線 3545

### 1 目 的

本県のがんの実態把握や、がん検診の受診促進、がん検診精度の向上により、がんの早期発見・早期治療に繋がるとともに、がん医療提供体制の充実や緩和ケア提供体制の整備など、がん対策を総合的に実施する。

### 2 予算総額 130,419千円

### 3 事業概要

#### (1) がん実態把握、がん早期発見の推進 30,364千円

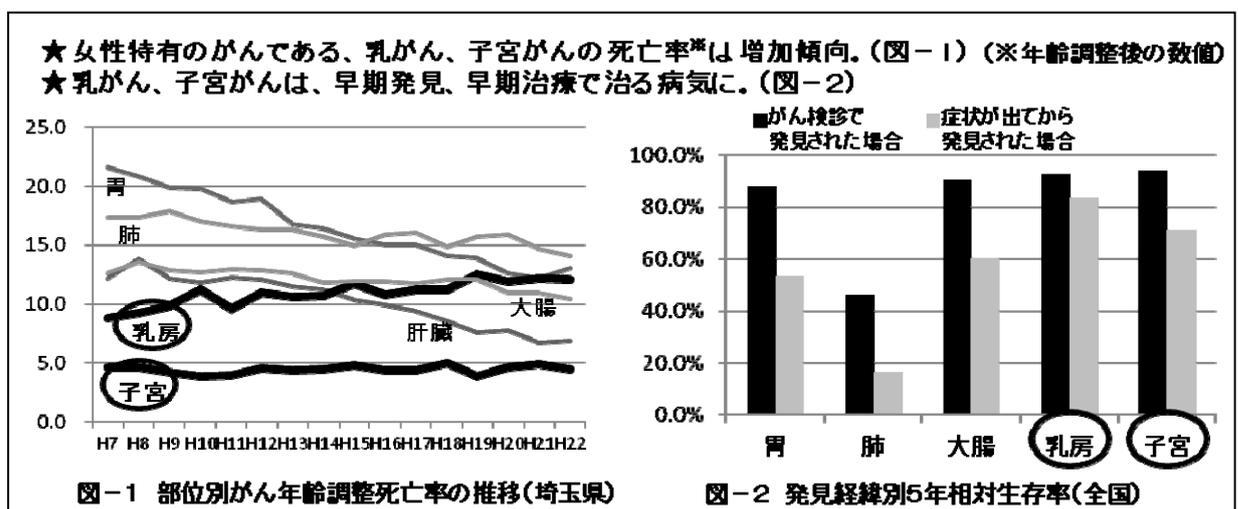
- ア 県内のがんの罹患、発見経緯等の実態を把握・分析する「地域がん登録」を実施
- イ 民間企業との連携による「がん検診受診推進サポーター」を養成
- ウ 県民自らが身近な人にごがん検診受診を勧める「県民サポーター」を養成
- エ 市町村が実施するがん検診の結果集計・分析を通じ、がん検診の精度向上を支援

#### (2) がん医療、緩和ケア体制の充実・強化 69,863千円

- ア 地域がん診療連携拠点病院（9病院）の質の高い医療提供体制を支援
- イ がん診療に携わる医師に緩和ケアの知識を習得させる研修を実施
- ウ 臨床実践能力の高い看護師の育成を目指した研修を実施

#### (3) 女性のためのがん対策の推進（新規） 30,192千円

- ア 女性がん検診への関心を高めるためのモデル事業を実施（県内3地区）
- イ 乳がん検診の精度向上（乳がんマンモグラフィ読影認定医師の養成）
- ウ 女性がん患者への相談体制を整備（ピアサポーターの養成・拠点病院等への派遣）



## 健康長寿埼玉プロジェクトの推進

担当 健康長寿課 健康長寿担当  
内線 3573

## 1 目的

市町村、県民、民間団体、県などが一体となって、誰もが、毎日が健康で、医療費が少なく、生き生きと暮らすことができる「健康長寿社会」を目指す。

そこで、「運動」「食」「団地」を中心とした特徴的な取組を広めることにより、健康長寿埼玉を実現する。

2 予算総額 89,695千円

## 3 事業概要

(1) 健康長寿モデル都市の拡大(拡充) 60,000千円

- ・モデル都市3市(東松山市、坂戸市、朝霞市)のリーディング事業を拡大・充実する。
- ・第2次モデル都市4市(加須市、和光市、春日部市、久喜市)に事業を拡大する。
- ・7市の善政競争を促すことで、県内への普及を推進する。

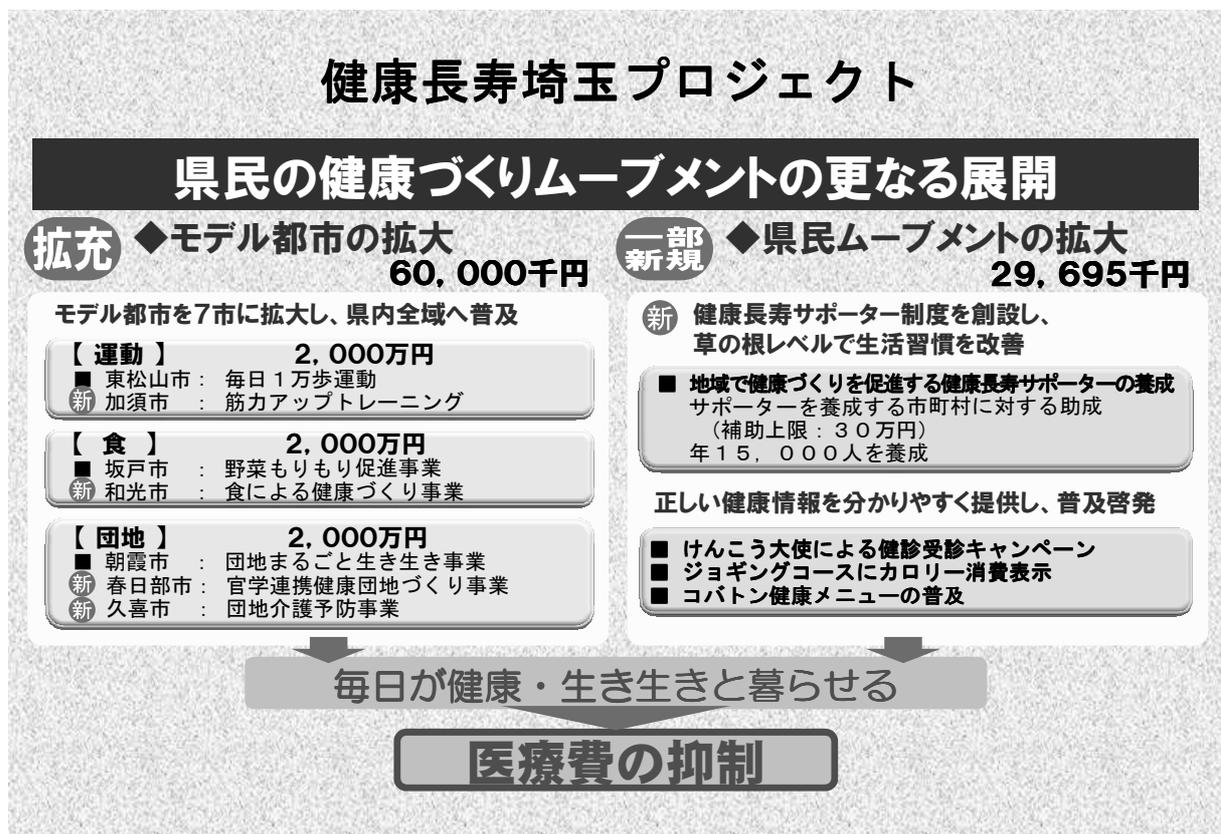
(2) 県民ムーブメントの拡大 29,695千円

## ア 健康長寿サポーター制度の創設(新規)

県民が主体となって健康づくりを行うための健康長寿サポーターを養成し、草の根レベルで生活習慣改善の取組を促進する。

## イ 正しく分かりやすい健康情報の提供

けんこう大使による健診受診キャンペーン、ジョギングコースへのカロリー消費表示、コバトン健康メニューの普及により、健康情報を分かりやすく提供する。



# 特定健康診査等実施事業への支援

担当 国保医療課 国保事業担当  
内線 3360

## 1 目的

生活習慣病の発症を予防し医療費の適正化を図るため、特定健康診査及び特定保健指導を実施する国保保険者である市町村及び国保組合に対し支援を行う。

2 予算総額 1,233,805千円

## 3 事業概要

(1) 特定健康診査等実施事業（市町村国保） 1,194,005千円

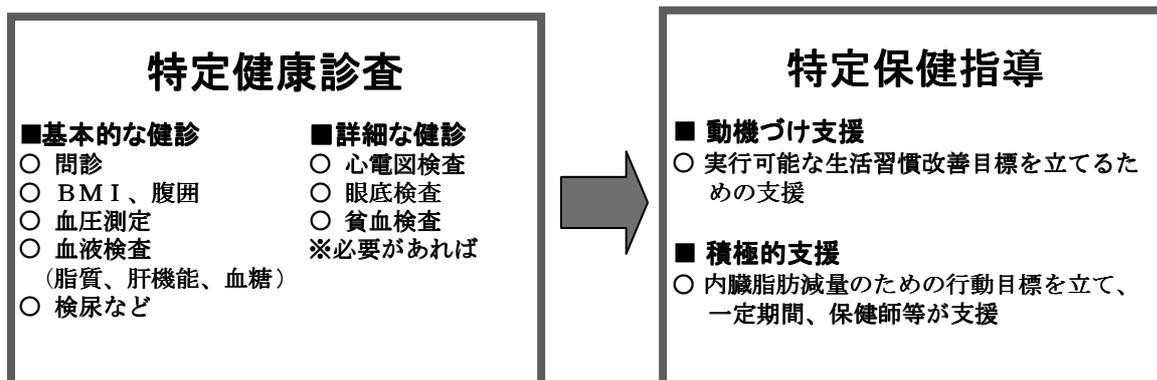
市町村国保に対し、特定健康診査及び特定保健指導に要する経費の一部を負担する。(国 1/3、県 1/3、市町村国保 1/3)

(2) 特定健康診査等実施事業（国保組合） 39,800千円

国保組合に対し、特定健康診査及び特定保健指導に要する経費の一部を補助する。(県 10/10)

### ■特定健康診査・特定保健指導とは■

- 平成20年度から、保険者に対し、40～74歳の被保険者を対象とした特定健康診査及び特定保健指導の実施が義務付けられた。
- 特定健康診査は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を発見するための健診である。
- 一方、特定保健指導は、これらの方々を対象に、生活習慣改善のための保健指導（動機づけ支援、積極的支援）を専門職（医師、保健師、管理栄養士等）が行うものである。



## 新型インフルエンザ対策の推進

担当 疾病対策課 感染症・新型インフルエンザ対策担当  
内線 3572

### 1 目的

新型インフルエンザの発生・流行に備えた医療体制を確保することにより、県民の健康被害や社会的影響を最小限に抑える。

2 予算総額 1,284,333千円

### 3 事業概要

(1) 医薬品の確保 1,245,394千円

新型インフルエンザの流行に備えて、抗インフルエンザウイルス薬（タミフル、リレンザ）の備蓄を行う。（149.2万人分）

ア 抗インフルエンザウイルス薬の更新（タミフル58万人分）（新規）

イ 抗インフルエンザウイルス薬の適切な保管管理（タミフル、リレンザ）

(2) 医療体制の確保 38,939千円

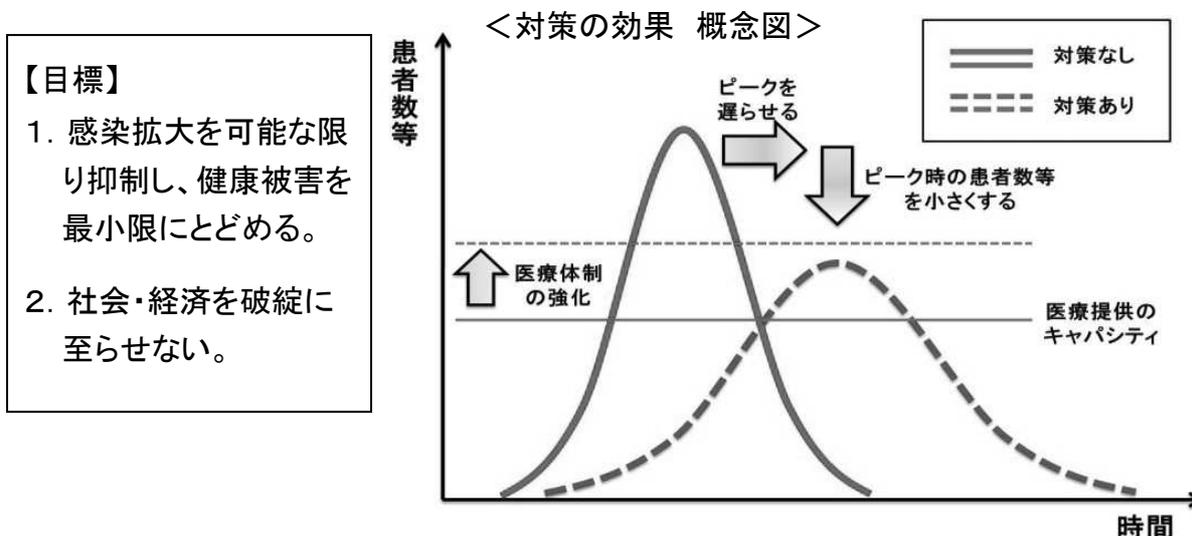
新型インフルエンザの流行に備えて、感染拡大防止や検査のための体制を確保する。

ア 新型インフルエンザウイルス検査体制の確保

イ 新型インフルエンザ発生時の医療体制の確保

ウ 新型インフルエンザ専門家会議の運営

### 新型インフルエンザ対策の目標と効果



## 自殺対策の推進

担当 疾病対策課 総務・精神保健担当  
内線 3565

### 1 目的

本県における自殺を抑制するため、自殺対策緊急強化基金を活用し、県、市町村、関係機関、民間団体が協力・連携して自殺対策事業の推進を図る。

2 予算総額 135,594千円

### 3 事業概要

(1) 相談体制の充実 60,384千円

ア 埼玉いのちの電話やさいたまチャイルドラインに対する補助

イ 暮らしとこころの総合相談会の開催（毎週木曜日）

ウ こころの健康相談統一ダイヤル（内閣府）への通年加入

(2) 自殺未遂者の再度の自殺防止（新規） 3,500千円

ア 自殺未遂者に対する情報提供

自殺未遂者やその親族に相談窓口の情報を提供し、再度の自殺を防ぐ。

イ 自殺未遂者ケア研修会

救急医療機関の医療関係者を対象に自殺未遂者ケア対応の向上を図る。

(3) ゲートキーパー養成の促進（新規） 2,000千円

県内企業の人事担当者を対象にゲートキーパー研修会を実施する。

(4) 民間団体等との連携・支援の強化 10,500千円

ア 自殺対策実施団体連絡会（新規）

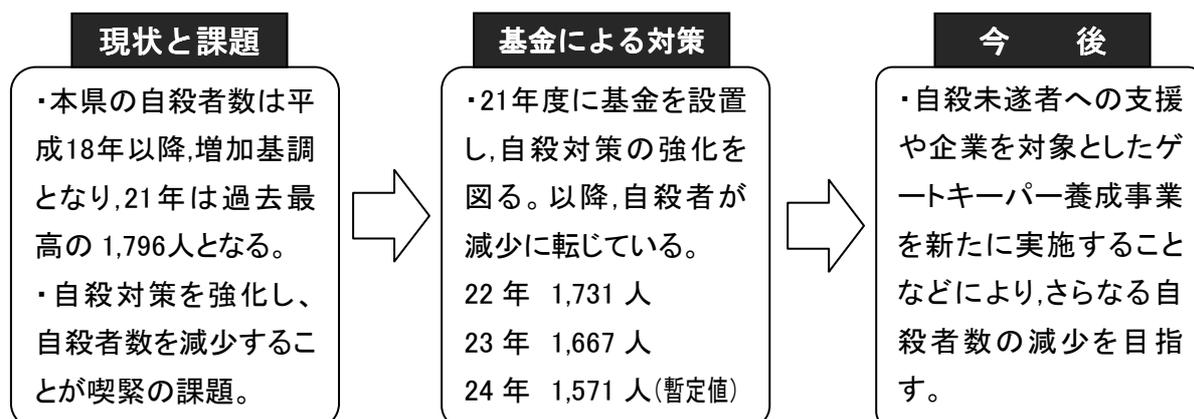
自殺対策に取り組む関係機関や民間団体と顔の見える関係をつくり、相互に協力・連携できる環境づくりを進める。

イ 自殺ハイリスク者支援団体（薬物・アルコール依存症者等）に対する補助

ウ 鉄道会社が実施する自殺防止事業に対する補助

(5) 地域に対する支援 59,210千円

市町村が実施する相談体制の整備等の自殺対策の取組に対する補助



# 市町村国民健康保険事業への支援

担当 国保医療課 国保事業担当  
内線 3356

## 1 目 的

市町村国民健康保険事業の運営の健全化を図るため、必要な財政支援を行う。

2 予算総額 50,908,952千円

## 3 事業概要

(1) 国民健康保険財政調整交付金 37,108,504千円

市町村間における、被保険者数や所得水準等による国民健康保険財政の不均衡を調整するとともに、国民健康保険事業の健全な運営を推進する事業等に対して交付する。(医療給付費の9%、県10/10)

### [国民健康保険制度の財源構成 (イメージ図)]

医療給付費 (医療費－自己負担額)			
保 険 税 (50%)	国調整 交付金 (9%)	定率国庫 負担金 (32%)	県調整 交付金 (9%)

(2) 国民健康保険運営安定化事業費 13,800,448千円

#### ア 保険基盤安定事業負担金

市町村保険者の財政基盤安定に資するため、低所得者に対する保険税軽減相当額の一部を負担する。(保険税軽減分 県3/4、市町村1/4)

また、軽減の対象となった被保険者数に応じて、保険税の一部を負担する。  
(保険者支援分 国1/2、県1/4、市町村1/4)

#### イ 高額医療費共同事業負担金

国民健康保険団体連合会が行う高額医療費共同事業に対して、市町村が負担する拠出金の一部を負担する。(国1/4、県1/4、市町村1/2)

# 後期高齢者医療制度への支援

担当 国保医療課 福祉医療・後期高齢者医療担当  
内線 3358

## 1 目的

後期高齢者医療制度について、その運営が健全かつ円滑に行われるように、運営主体の広域連合や市町村を支援する。

2 予算総額 51,522,078千円

## 3 事業概要

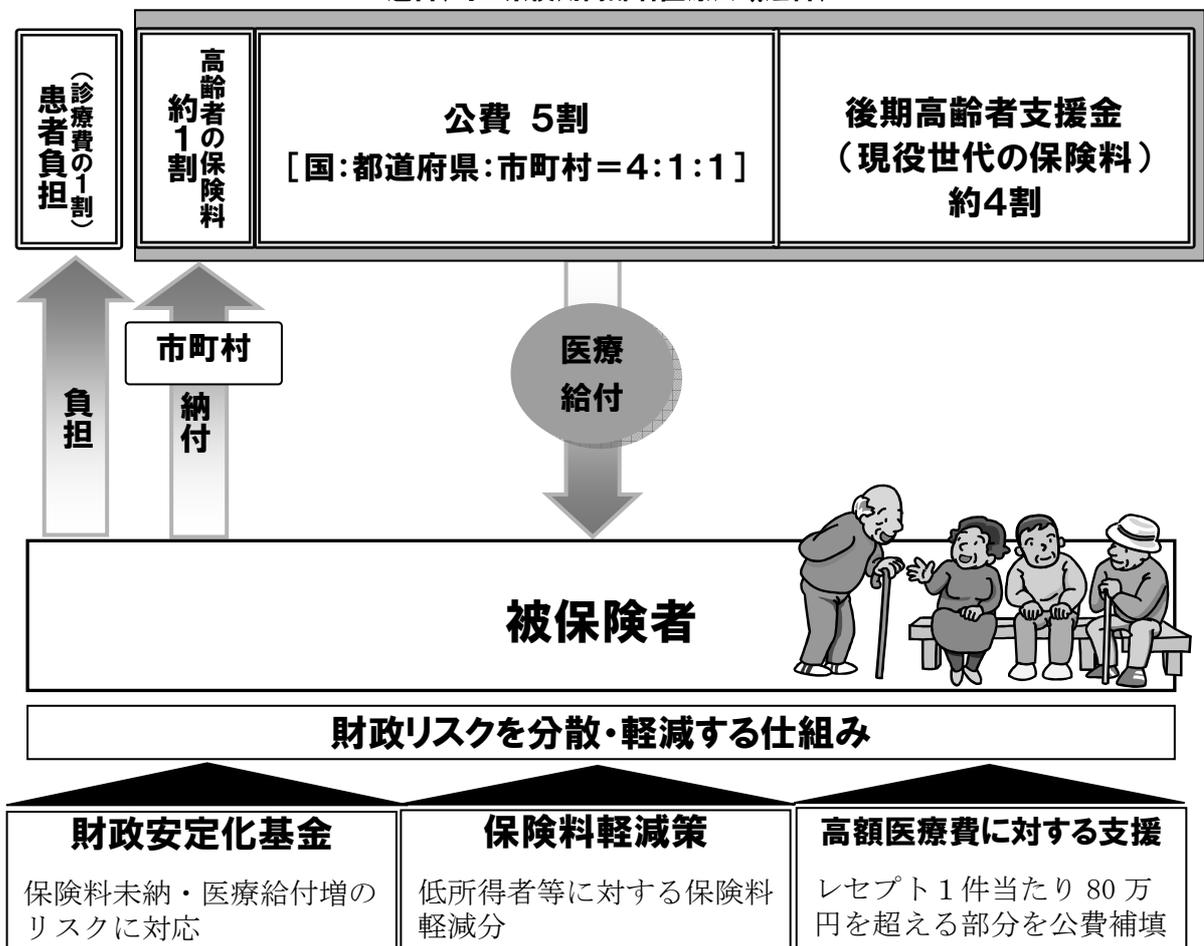
(1) 後期高齢者医療対策費 50,094,507千円

広域連合及び市町村に法定負担金を交付して財政支援を行い、後期高齢者医療制度の健全かつ円滑な運営を図る。

(2) 後期高齢者医療財政安定化基金事業費 1,427,571千円

後期高齢者医療制度に財政不足が生じた場合に、資金の貸付・交付を行うため、県で設置している基金に、積立てを行う。

### 運営(埼玉県後期高齢者医療広域連合)



# 今後の医療提供体制整備の進め方

担当 保健医療政策課 医学部調査・政策企画担当  
内線 3526

## 1 目 的

救急、周産期、小児救急の医療体制の維持や県北・秩父地域での医療機能の充実が課題である。また、最速のスピードで進む超高齢化に対応する在宅医療の整備も急務である。

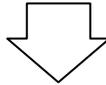
特定の医療機能や医療人材を「公共財」と位置づけ、県民の共通理解と負担のもと県民全体で守り育てる医療分野での共助の取組を推進する。

(県民全体で守り育てる「公共財」の例)

- ①救急、周産期、小児の崩壊防止と当面の充実策、働きやすい職場環境づくり
- ②医療過疎地域や在宅医療への対応 ③医療人材の確保 ④医療受給者の自覚

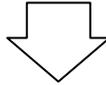
## 2 手 順

埼玉の医療事情や対応策について、県民(医療受給者)、医療提供者、行政の3者が認識を共有し県民全体で守り育てる医療分野の協定(アコード)を締結する。



支援を希望する医療機関が協定に基づく取組を実施し、県民は地域医療機関を支えるための支援をする。

- ・県民の取組：適正受診、健康づくり・予防、在宅医療の普及



県は独自に5年のうちに何をするのかを具体的に明らかにする。

- ・総合病院や大学院(医学研究科)誘致

## 3 関連予算総額

3, 428, 698千円

(1) 周産期・救急医療体制の充実	1, 607, 807千円
(2) 埼玉県総合医局機構の体制整備	40, 192千円
(3) 医学部の環境整備	21, 464千円
(4) 医学生・研修医の誘導・定着の促進	273, 605千円
(5) 在宅医療体制の強化	31, 711千円
(6) がん対策の推進	130, 419千円
(7) 健康長寿埼玉の推進	1, 323, 500千円